昭和時代 正誤問題

名前　　月　日　　点

正誤問題（8問）

1　正しいものを1つ選びましょう。

ア　1945年8月、日本は連合国の五箇条の御誓文を受け入れて降伏した。

イ　1951年にサンフランシスコ平和条約が結ばれ、翌1952年の発効で日本は独立を回復した。

ウ　戦後の民主化で、財閥解体によって地主の土地が小作人に分けられた。

エ　1951年、サンフランシスコ平和条約と同じ日に日米修好通商条約が結ばれ、アメリカ軍が日本にとどまることが認められた。

2　誤っているものを1つ選びましょう。

ア　1973年、中東の戦争をきっかけに石油の値段が急に上がる特需景気が起き、日本の経済が混乱した。

イ　戦後の民主化で、日本の経済を支配していた三井・三菱などの大企業グループを解体したことを財閥解体という。

ウ　日本は1945年に連合国に降伏し、太平洋戦争が終わった。

エ　1978年、日本と中国は日中平和友好条約を結んだ。

3　正しいものを1つ選びましょう。

ア　1945年8月、広島と長崎にミサイルが投下された。

イ　戦後、連合国は弾劾裁判で日本の戦争指導者を裁いた。

ウ　1937年、日本と中国の間で全面戦争の日中戦争が始まった。

エ　1929年、アメリカのニューヨークで株価が大暴落したことから、世界中にバブル崩壊が広がった。

4　誤っているものを1つ選びましょう。

ア　1965年、首相の佐藤栄作のもとで日韓基本条約が結ばれた。

イ　1956年、日ソ共同宣言の後に日本はASEANに加盟した。

ウ　五･一五事件で、首相の犬養毅が暗殺された。

エ　1943年、それまで徴兵を猶予されていた文科系の大学生などが戦場に送られたことを学徒出陣という。

5　正しいものを1つ選びましょう。

ア　1931年、日本軍が中国東北部で軍事行動を起こす満州事変が起きた。

イ　1941年、真珠湾攻撃で日本とアメリカなどとの日露戦争が始まった。

ウ　太平洋戦争の末期、空襲をさけるために都市の小学生が集団で地方へ移ったことを勤労動員という。

エ　戦後、日本を占領した連合国軍総司令部（GHQ）の最高司令官をハリスがつとめた。

6　誤っているものを1つ選びましょう。

ア　1931年、日本軍が奉天の郊外で南満州鉄道の線路を爆破する二･二六事件を起こし、満州事変のきっかけとなった。

イ　1941年、太平洋戦争が始まったとき、東条英機が内閣総理大臣をつとめていた。

ウ　1965年、日本は日韓基本条約を結び、韓国と国交を正常化した。

エ　1938年、戦争のために国民や物資を政府が議会の承認なしに動員できる国家総動員法が定められた。

7　正しいものを1つ選びましょう。

ア　1937年、北京の郊外で日本軍と中国軍が衝突する張作霖爆殺事件が起き、日中戦争のきっかけとなった。
イ　1964年、アジアで初めて、日本で長野五輪が開かれた。
ウ　1960年、池田勇人内閣は、10年間で国民の所得を2倍にする所得倍増計画を発表した。
エ　1932年、海軍の青年将校らが首相官邸をおそい、犬養毅首相を暗殺する二･二六事件が起きた。

8　誤っているものを1つ選びましょう。

ア　1972年、アメリカから日本に北方領土が返還された。
イ　1950年代後半から続いた、日本経済の急成長を高度経済成長という。
ウ　1936年、陸軍の青年将校らが首相官邸などをおそい、大臣らを殺害する二･二六事件が起きた。
エ　1960年、内閣総理大臣の池田勇人が「所得倍増計画」を打ち出した。